



SymBio Pharmaceuticals Limited
San-Ei Building, 5-23-7 Shimbashi, Minato-ku, Tokyo 105-0004, Japan
Tel: +81-3-5472-1125 Fax: +81-3-5472-3054 <http://www.symbiosis.co.jp/>

2007年8月31日

シンバイオ製薬株式会社
代表取締役社長 吉田 文紀

シンバイオ製薬がグリベック耐性白血病細胞に有効なポリエチレングリコール結合 亜鉛プロトポルフィリン(PEG-ZnPP) の全世界においての独占的権利を取得した

シンバイオ製薬株式会社は、前田浩教授(崇城大学薬学部教授、第23回日本DDS学会会長)が創製したグリベック耐性 CML および MCL に有効な新規抗癌性物質ポリエチレングリコール結合亜鉛プロトポルフィリン(PEG-ZnPP)の研究・開発、製造・販売について全世界を対象とした独占的権利を取得致しました。

前田教授らが創製した PEG-ZnPP は、癌細胞が活性酸素による攻撃から自らを守るために高発現しているヘムオキシゲナーゼ(HO-1、熱ショックタンパクHSP32ともいう)を選択的に分子標的とし、阻害することで、抗腫瘍活性を発揮します。また、選択的に腫瘍組織に分布し、長時間滞留するという特徴を持っています。更に、可視光線で励起されて活性酸素を発生し、腫瘍細胞を傷害する作用も併せ持っています。また、試験管内の実験ではグリベック耐性慢性骨髄性白血病(CML)細胞および肥満細胞白血病(MCL)細胞に対しても強力に細胞増殖抑制作用を示すことから、現在有効な治療法がないグリベック耐性CMLおよびMCL患者に対して、PEG-ZnPP が有効である可能性が示唆されました。PEG-ZnPP 単独での抗腫瘍効果に加え、シスプラチン、カンプトテシン、ドキシソルビシン、マイトマイシン C、エトポシドなどの他の抗癌剤と併用することにより、一般の固型腫瘍に対し、抗腫瘍作用が相加的、相乗的に増強され、強力な効果を発揮します。また、担癌マウスにおける安全性予備試験の結果からは、有効用量で有害事象は見られておらず、高い安全性が示唆されています。

シンバイオ製薬は患者数は少なくとも真に医療ニーズの高い新薬を開発し医療の現場にいち早く提供することにより、「空白の治療領域」に光を当てることを企業使命として設立された企業です。このようなシンバイオ製薬の企業理念が前田教授の癌化学療法に対する取組みに一致したことから、シンバイオ製薬は前田教授と共同で、PEG-ZnPP の研究開発を行うことで合意しました。

シンバイオ製薬は、癌治療の領域の薬剤開発に力を注いでおり、非ホジキンリンパ腫の治療薬であるベンダムスチンの開発を進めています。既に、臨床第I相試験を良好な成績で終了し、現在第II相試験の準備を行っており、2011年の承認を目指しています。一方、癌治療における補助療法として、制吐剤の貼付製剤の開発も行っており、現在第I相臨床試験開始に向けて準備中です。

以上

〔会社概要〕

シンバイオ製薬は、前アムジェン社本社副社長で、またアムジェン株式会社を創業した前社長の吉田文紀が 2005 年 3 月に設立した医薬品企業です。経営理念は「共創・共生」(共に創り、共に生きる)で表され、患者さんを中心として医師、科学者、行政、資本提供者を「共創・共生」の経営理念で結び、満たされない医療ニーズに応じていくことにより、社会的責任および経営責任を果たすことを事業目的としております。シンバイオ製薬についての詳細な情報は <http://www.symbiosis.co.jp> をご覧ください。

〔連絡先〕

シンバイオ製薬株式会社

常務執行役員 兼 COO 尾川 修

Tel: +81(0) 3 5472 1123

E-mail: ホームページ「お問い合わせ」サイトより送信をお願いいたします。

URL: <http://www.symbiosis.co.jp>